



精密NC旋盤

高度技術研修（高度技術開発センター）



微細放電加工機

C O N T E N T S

Page 2

やまなしグッドデザイン選定事業

Page 3

ロボコンやまなし2000
2000テクノフェア&マルチメディアエキスポ

Page 4

第30回山梨県ワイン鑑評会

Page 5

食料品表示の改正（JAS法改正）

Page 6

平成12年度第1回センター運営協議会

やまなしグッドデザイン選定事業作品募集

山梨には様々な特色ある産業があり、たくさんのデザインが生まれています。山梨で生まれたデザイン、そして、新たなアイデアを募集する「やまなしグッドデザイン選定事業」は平成7年度にスタートし、今年度は6回目を迎えます。また、昨年度からやまなしグッドデザインに選定された商品等には選定認証マーク（右のマーク）を交付しています。

本年度も企業及びデザイナーの方々多数のご応募をお待ちしています。

応募部門

【実用商品部門】

実際に使用されているもの、あるいは平成12年12月末日までに発売・発表する予定のもの。

プロダクトデザイン

例：工業製品、日用雑貨、文具、福祉機器、食器、飲料・食品のパッケージ、家具・インテリア、装飾品、服飾品、クラフト、玩具など

ビジュアル&コミュニケーションデザイン

例：ポスター・パンフ、CI、環境・景観デザイン、公共空間のサイン、CD-ROMなど

【提案作品部門】

自由なテーマ、コンセプト、アイデアによる企画及びデザインの提案。

フリープログラム（パネル、模型、企画書による提案）

例：新しい の提案、 の活用による の提案、 における のデザインなど

審査：デザインの専門家、デザイナー系学識経験者等による審査会で行います。

選定：審査会にて選定された商品等には「選定証及び選定マーク」を交付します。

最優秀賞	1点	副賞	20万円
優秀賞	1点	副賞	10万円
部門賞	2点	副賞	5万円
特別賞	若干	副賞	1万円

一般公開：選定商品/作品は「2000デザインミュージアム」の会場にて一般公開します。

展示会場 県民情報交流プラザ（旧甲府西武デパート）

展示会期 平成12年12月8日（金）～11日（月）

各日 AM10：00～PM5：00（最終日PM4：00）

応募期間：ただ今応募票の受付中です

締め切り：平成12年10月31日（火）

持参：AM9：00～PM4：30

郵送：10月31日（火）必着

応募の問い合わせ先：やまなしグッドデザイン推進事業担当

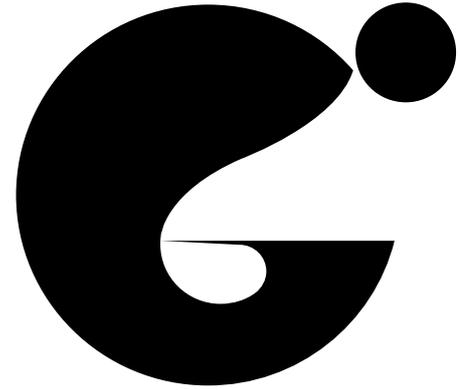
山梨県デザインセンター・デザイン開発部

郵便400-0055 甲府市大津町2094 山梨県工業技術センター

TEL 055-243-6111/6101 FAX 055-243-6110/6102

AM9：00～PM5：00（土日・祝日を除く）

やまなしグッドデザイン推進事業



Yamanashi Good Design Selection

ロボコンやまなし2000

中・高生から大学生、一般社会人が一同に集まり、与えられた課題で製作したロボットのアイデアと性能を競うロボコン山梨2000（第8回ロボットコンテスト）が今年も開催されます。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

競技及び種目

ロボコンやまなし2000競技の参加応募要綱によりそれぞれ製作したロボットを持ち込み、次の競技を行います。

競技部門及び種目

中学生の部	スポンジ運び競技
高校生の部	対戦型ピンポン玉入れ競技 対戦型ライトレース競技
大学・一般の部	自律型射撃ロボット競技
自由参加の部	剣道ロボット競技

表彰

中学生・高校生の部
各部門1～3位の上位入賞と特別賞
大学・一般・自由参加
各部門1、2位の上位入賞と特別賞

競技の様子をインターネット（<http://www.kofu-th.ed.jp>）で生中継致します。

開催場所	アイメッセ山梨
開催日	平成12年11月25日(土)
応募締切	平成12年10月31日(火)
問い合わせ先	ロボコンやまなし実行委員会事務局 山梨県工業技術センター内 〒400-0055 甲府市大津町2094 TEL055-243-6111

2000山梨テクノフェア&マルチメディアエキスポ

21世紀の主役となるハイテクとマルチメディアに関連する企業が、それぞれ得意とする製品や加工技術等をデモンストレーションするイベントが開催されます。

また、アイメッセ山梨の開館5周年を記念して、21世紀の主役となる若者達の意気込みが伝わる「ものづくり高校生作品展」も併せて開催されます。

工業技術センターでは、専門職員による技術相談コーナー及び特許流通アドバイザーと特許電子図書館検索指導アドバイザーによる特許活用相談コーナーを開設します。皆さんの立ち寄りをお待ちしています。

会期	平成12年11月23日(木)～25日(土)
会場	アイメッセ山梨(山梨県立産業展示交流館) 甲府市大津町2192-8
出展品	機械・装置、器具、部品、完成品、ソフトウェア、開発成果品など (カタログ、パネルなどを含む)
併設事業	・ものづくり高校生作品展 平成12年11月23日(木)～24日(金) ・やまなしサービス産業展 平成12年11月23日(木)～24日(金)

問い合わせ先

(社)山梨県機械電子工業会	〒400-0055 甲府市大津町2094 TEL 055-243-6264
(財)やまなし産業支援機構	〒400-0055 甲府市大津町2192-8 TEL 055-243-1890
山梨県地域情報化推進協議会	〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 情報政策課内 TEL 055-243-1890

第30回山梨県ワイン鑑評会

消費者の健康志向からポリフェノールが注目された平成10年度は、空前の赤ワインブームでした。昨年は、山梨県産果実酒の製造（製成数量）が45,318kL、出荷（課税移出数量）が27,791kLでそれぞれ前年比83.3%、前年比78.1%とやや減少したものの、数年前と比べると増加しておりワインの消費層は着実に拡大していると思われます。この様な状況の中、平成12年6月9日、第30回山梨県ワイン鑑評会を山梨県ワイン酒造組合と共催でワインセンターにおいて開催しました。ワイン鑑評会には41社のメーカーから91品のワイン（前年86品）が出品されました。

審査は、ワインセンター支所長を審査長とし、国税庁の専門家、学識経験者、ワイン酒造組合及び当センター職員の合計19名で厳正に行われました。各タイプ別の審査結果を表に示しました。

下位のランクのD（可）、E（不可）のものは1品もなく、品質の著しく劣るワインはありませんでしたが、最も良好なAランク（秀）に評価されたワインは全体の9%程度とやや少なく、さらなる酒質を向上する努力が必要です。

原料ブドウは、白ワインでは圧倒的に甲州種使用ワインの出品が多く、赤ワインでもカベルネ・ソービニオン、ベリーA、甲斐ノールなど県産ブドウを使用したワインが多く、各社のオリジナルワイン醸造への取り組みに対する意気込みが強く感じられました。

醸造方法では白ワインにおいては香味の増強を目指して、酵母と長く接触したシュール・リー、樽発酵、樽貯蔵を行ったものが年々多くなる傾向にあります。

6月16日には、同じくワインセンターにおいて、業界関係者及び葡萄酒技術研究会の県内外会員を対象として、出品酒を公開しました。106名と多くの参加者は一品一品比較しながら、それぞれのワインを熱心にきき酒してしていました。

本鑑評会が、県産ワインの個性化やさらなる品質向上につながることを期待します。

区 分		出品数	審 査 結 果 (ラ ン ク 別 品 数)				
			A	B	C	D	E
白	甲 州 新 酒	28	3	16	8	0	0
	甲 州 古 酒	13	1	11	1	0	0
	そ の 他 新 酒	5	0	4	1	0	0
	そ の 他 古 酒	12	1	10	1	0	0
赤	新 酒	11	0	11	0	0	0
	古 酒	19	3	15	1	0	0
口 ぜ		3	0	3	0	0	0
合 計		91	8	70	12	0	0

*ランク：秀（A）、優（B）、良（C）、可（D）、不可（E）



食料品の表示が変わります（JAS法改正）

食料品の表示が大きく変わります。農林水産省では、消費者の視点を重視した食料政策構築の観点から、昨年7月に食品の表示・規格制度を定めるJAS法（農林物質の規格化及び品質表示の適性化に関する法律）を大幅に改正しました。この改正により原材料名表示や原産地表示といった品質表示がすべての食品に義務づけられたほか、有機食品の検査認証・表示制度が設けられました。

主な改正点は次のとおりです。

1. 食品の表示の充実強化

（改正前） 表示対象品目 64品目（うち、青果物の原産地表示は9品目）

（改正後） 表示対象品目 一般消費者向けのすべての飲食料品、すべての生鮮食料品に原産地を表示

2. 有機食品の検査認証・表示制度の創設

（改正前） 「有機食品」の規格無し、有機食品の検査認証制度無し

（改正後） 「有機食品」の規格を追加、第三者認証機関（登録認定機関）が圃場ごとに生産者を認定し、この生産者が生産したもののみ、「有機」と表示（それ以外のものは「有機」と表示できない）

3. JAS規格制度の見直し

規格の定期的な見直しの法制化及び国際規格との整合化

事業者自身による格付の表示のための仕組みの導入

民間会社などへ格付等の権限を開放

この改正により、既に本年、7月1日から、生鮮食料品の原産地表示が始まっていますが、今後、改正JAS法が本格的に動き出します。表示事項の概要及び表示開始年月日は、下記のとおりです。

食品の分類別義務表示及び表示開始年月日

分類	表示事項の概要	表示開始年月日
1. 加工食品	(1) 名称 (2) 原材料名 (3) 内容量 (4) 賞味期限（品質保持期限） (5) 保存方法 (6) 製造業者等（輸入品にあっては輸入業者の氏名又は名称及び住所） (7) 輸入品にあっては原産国名	平成13年4月1日
2. 生鮮食品	(1) 名称 (2) 原産地	平成12年7月1日 但し米は、 平成13年4月1日
3. 遺伝子組換え食品 （豆腐・油揚げ類など告示で定められた食品）	遺伝子組換え農産物である旨又は遺伝子組換え農産物を原材料とする旨	平成13年4月1日
4. 有機農産物及び有機加工食品	(1) 特定JASマークの添付 (2) 加工食品及び生鮮食品に準ずる	平成13年4月1日

お問い合わせは技術第一部食品・酒類科まで

平成12年度第1回山梨県工業技術センター運営協議会

平成12年7月19日(水)に、当センターの研究・指導等の運営に関して、学識経験者及び業界代表の方々のご意見・ご助言をいただき、第一回運営協議会が開かれました。議事に先立ち今後2年間ご提言をいただき委員の方々に委嘱させていただきました(運営委員として委嘱させていただいた方々は下記のとおりです)。議事では、平成11年度指導事業並びに研究成果概要報告、平成12年度事業実施計画並びに研究実施計画等について説明し、委員の皆さんにいろいろなお意見、ご指導をいただきました。

【学識経験者】

氏名	所属・役職名	氏名	所属・役職名
森 英雄 (会長)	山梨大学工学部電気電子システム工学科 地域共同開発研究センター長、教授	大隅萬里子	帝京科学大学バイオサイエンス学科 教授
宮崎 清	千葉大学工学部都市環境システム学科 教授	横内 滋里	山梨英和短期大学情報文化学科 助教授
永寿 伴章	工業技術院機械技術研究所生産システム部 生産機械研究室 室長	吉田 雅彦	県立女子短期大学生活科学科 教授

【業界関係者】

氏名	団体名・役職名	氏名	団体名・役職名
北原 兵庫	山梨県酒造組合 理事	向井 照夫	山梨県水晶宝飾連合会 理事
上野 昇	山梨県ワイン酒造組合 会長	深澤 利彦 (副会長)	山梨県水晶宝飾連合会 理事
天野袈裟富	山梨県味噌醤油工業協同組合 常務理事	古屋 武雅	山梨県プラスチック交流会 会長
米山米太郎	山梨県漬物協同組合 理事長	上野 喜衛	(社)山梨県機械電子工業会 常任理事
志村 武彦	山梨県菓子工業組合 副理事長	高野 悟	(社)山梨県機械電子工業会 常任理事
安江 一	山梨県ニット工業組合 副理事長	古守 三郎	(社)山梨県機械電子工業会 理事
小田切 章	山梨県アパレルソーイング工業組合 筆頭副理事長	藤田 良邦	(社)山梨県情報サービス産業協会 理事
小野喜美雄	山梨県家具工業協同組合 副理事長		

【関係機関】

氏名	団体名・役職名	氏名	団体名・役職名
荻野 勇二	(財)山梨21世紀産業開発機構 専務理事 (現 (財)やまなし産業支援機構)	菊島 利雄	(財)山梨県中小企業振興公社 専務理事 (現 (財)やまなし産業支援機構)

山梨県工業技術センターニュース

2000 No.3 通巻 73号

発行 平成12年9月14日
編集 センターニュース編集委員会
所在地 〒400-0055 甲府市大津町2094
TEL055-243-6111
FAX055-243-6110
URL <http://www.yitc.go.jp>
E-mail www-admin@yitc.go.jp

印刷 (株)アド井上
TEL055-273-6141
URL <http://www.mdf.co.jp>
E-mail info@mdf.co.jp